

地域連携協働NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

文部科学省『コミュニティ・スクールのつくり方』よりCSについて説明していきます

コミュニティ・スクールのメリット・魅力は何？

社会総掛かりで教育を実現する上で、これからの学校は「開かれた学校」から更に一步踏み出し、「地域とともにある学校」へと転換していくことが重要です。地域でどのような子供たちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有し、一体となって子供たちを育みたいですね。

「全国各地で地域との連携が進められていますが、

メリットや魅力ってどんなところ？」

① 組織的・継続的な体制の構築=持続可能性

校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制が継続できる「持続可能なしくみ」です。

② 当事者意識・役割分担=社会総掛かり

校長が作成する学校運営の「基本方針の承認」を通して、当事者意識を持ち「役割分担をもって連携・協働による取組」ができます。

③ 目標・ビジョンの共有=協働活動

学校運営協議会や熟議の場をとおして、子供たちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子供を育てていくのかという「目標・ビジョンを共有」できます。



【えがわっ子クラブ】 R1.9.25



【田島放課後子ども教室】 R2.10.22

コミュニティ・スクールは、広く保護者や地域の皆さんが参画できるしくみです。当事者として子供の教育に対する課題や目標を共有することで、学校を支える取組が充実するとともに、関わる人全ての人に様々な魅力が広がっていきます。

【子供にとっての魅力】

◎ 子供たちの学びや体験活動が充実し、地域の担い手としての成長も期待でき、体験をとおして自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。

【教職員にとっての魅力】

◎ 地域の人々の理解と協力を得、「社会に開かれた教育課程」が実現します。また地域人材の活用で教育活動が充実します。

◎ 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。

【保護者にとっての魅力】

◎ 学校や地域への理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。

◎ 地域の中で子供が育てられるという「安心感」があり、保護者同士や地域の人々との人間関係が構築されます。

【地域の人々にとっての魅力】

◎ 経験を生かすことで、生きがいや自己有用感につながります。

◎ 学校を核とした地域ネットワークが形成され、学校が地域のよりどころになります。



【荒海中 地域連携協働活動】 R1.11.7



【田島二小 豆腐づくり】 R2.1.22

南会津域内では、これまでも地域とともに学校教育が推進されてきており、学校と地域の密着度がとても高いという特色があります。今後もこの教育が安定的に行われ、子供たちの豊かな成長を支え、地域の活力が維持・継続されるよう、CSの体制構築をすすめていきたいものです。

次号では
「CS導入の準備」
をお届けします